

令和3年度第4回小金井市農業委員会農政部会
(第2次小金井市農業振興計画策定) 会議録

開催日時	令和3年9月17日(金) 14時30分から15時50分まで			
開催場所	小金井市役所第二庁舎801会議室			
出席者	委員	岩本千絵、加藤健治、岸野有次、高橋金一、谷合正明、益田智史、松嶋あおい、渡邊雅毅		
	その他			
	事務局	高橋事務局長、山崎係長、江平主任 (株)地域計画建築研究所(アルパック) 2人		
欠席者	3人			
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可	<input type="radio"/> 不可・一部不可	傍聴者数	0人
議事日程	1 開会 2 挨拶 3 議題審議 (1) 調査結果の報告 ヒアリング(中間報告③) (2) 計画の骨子案及び論点の検討 (3) その他 4 閉会			
配布資料	次第 資料1: 小金井市農業振興計画に関するヒアリング(中間報告③) 資料2: 小金井市農業振興計画の骨子案 資料3: 小金井市農業振興計画施策案			

1 開会

2 部会長挨拶

副部会長 本日は部会長が欠席のため、代わりに司会進行を務めます。
それでは、議題審議に入ります。

3 議題審議

(1) 調査結果の報告 ヒアリング（中間報告③）

事務局 今回は、小金井市商工会や商店会連合会、観光まちおこし協会、会員制農場の方に話を伺いましたので報告させていただきます。

[資料に基づき事務局説明]

副部会長 ご意見、ご質問はございますか。

続きまして、計画の骨子案及び論点の検討を議題といたします。

(2) 計画の骨子案及び論点の検討

事務局 資料2をご覧ください。前回、計画の構成案をお示しし、施策の体系や内容についてご意見をいただきました。さらに議論を深めていただくために、今回は骨子案を作成いたしました。

[資料に基づき事務局説明]

用語解説は、「参考資料1」をご覧ください。用語解説の形式は、ご意見をいただきながら進めていく予定です。

本日は、18頁から31頁の「基本施策」と「施策の内容」について、議論していただきます。資料3は、施策の全体像をお示ししていますので、議論の補足としてご活用ください。

[資料に基づき事務局説明]

副部会長 ご意見、ご質問はございますか。

委員 用語解説は、短く簡単な解説を各頁下に注釈として掲載し、詳しい説明は資料編として用語解説に載せるなど、両方あると良いかもしれません。

次に、9頁のアンケート調査結果に関しましては、調査を行った結果として、小金井市においてどのような農業が望まれているのかという一文が記載されると良いかもしれません。

最後に、31頁の「6-3 新しいライフスタイルへの対応」にある、「子育て」とは、どのような意味ですか。

事務局 「子育て」が保護者の視点で子どもの成長を捉えているのに対し、「子育て」は、子どもの視点で子どもの成長を捉えた、子どもを主体とした考え方です。

最近では、「子育て」と「子育て」が並列して扱われるようになりました。

副部会長 子どもの権利条約等があるなかで、親が子どもを育てるだけでなく、子どもが地域の中などで自発的に育っていくという考えを盛り込んでいるということですね。「子育て・子育て」も用語解説に入れると良いかもしれません。

委員 社会の課題解決のために「農」がどのような働きをするのかといった内容も

盛り込むと良いかもしれません。

委員 5頁の「農業振興計画とは」に続いて6頁に「現行計画の振り返り」とありますが、現行計画の存在も知られていないという現状を踏まえ、現行計画を振り返る前に小金井市の農業の現状であったり、10年前から今日にかけての都市農業における総括的な変化についてであったり、非農業者がぱっと見て理解できる小金井農業の全体像が掴めるような数字や説明が入っていると良いように思います。

その説明が入ることにより、現行計画ではどのような課題に対して、どのような施策が講じられたのかなども理解しやすいのではないのでしょうか。

事務局 数字的な情報等を含む小金井市農業の現状に関しては12頁以降でも触れています。振り返りの部分について計画書の序盤でもう少し説明する必要がありますが、導入部分が長くなりすぎないようにバランスをとる必要があります。後半の施策の部分に比重を置きたいという考えがありますので、ご意見を踏まえまして検討いたします。

事務局 資料編に詳細を記載させていただき、詳しい背景を知りたいという方は資料編に誘導するといった方法も考えられます。

委員 文章で説明しても読んでもらえなければ意味がないので、より興味を持ってもらえるように、導入部分では、イラストや大きな文字などを用いて困っていることや役立っていることなどを分かりやすく説明すると良いように思います。

副部長 小金井の現状と課題を、文章ではなく図式化した方が市民や子どもにとっても分かりやすいかと思います。

他にご意見ございますか。

委員 31頁の「6-3 新しいライフスタイルへの対応」と「6-4 シビックプライドの醸成」がよく理解出来ません。市民が読んで具体的にどのようなイメージが持つかが見えてきません。

委員 特に、「6-4」は分かりにくいように感じます。主な取組など、具体例を入れますとイメージが付きやすいのではないのでしょうか。

事務局 「6-3」は、コロナの影響により在宅勤務等が増え、日中まち中に人がいることが増えました。小金井市は、住宅地のすぐそばに農地があるという環境も踏まえ、コロナによる変化を追い風にして、農と接する機会づくりや農業振興の追い風になるようなライフスタイルが生まれると良いといった考えです。

「6-4」は、最後の施策として、未来に向かって開かれていくような発展形のイメージを加えていきたいと設けました。ポイントとしましては、農業振興を通じて、小金井市に愛着を持ってもらうことをイメージしています。

具体的な内容は固まっておきませんので、ご意見をいただきながら検討を進めていっていきたいと思います。

委員 とても良い施策だと思いますので、混乱を防ぐために、具体的な取組を示し、丁寧に説明すると良いのではないのでしょうか。

業種により様々な課題、難題を抱えています。そのような状況において、地域包括ケアシステムの拡充が重要になってくるように思います。単一の業種や団体では解決出来なかった課題も、他の団体などと連携することによって負担が

軽減されることがあります。コミュニケーションはどの業種においても解決の糸口になりますし、シビックプライドにも繋がっていくように感じています。

地域内でのお付き合いが出来るまちを好きになりますし、人と人のつながりでまちは発展していくように思います。

そのようなことを丁寧に説明し、理想が語られると良いのではないのでしょうか。

事務局長 今のお話は30頁の「6-2」にも繋がるようなイメージもあります。

事務局 事務局でも、この部分はあまり唐突感が出ないように気を付けなければいけないと考えています。そのためにも、14頁で課題、15頁で既にある取組を紹介し、流れを作っていくような構成で進めていきたいと考えています。

委員 現在、公民館に頼まれて、親子にプランター栽培を教える取組をしています。

『農』と触れ合う」という事に関しては、やり方によっては自宅でも出来るかもしれません。農業者の役割として、プランター野菜づくりのような形で幅広い市民に農を楽しんでもらえるような関わり合いは出来るように思います。「6-3」にはそのような取組イメージを思っています。

「6-4」は、「6-2」とも関係するのですが、市民や料理人などが、農業者が捨ててしまうような農産物を利用して加工品を作る。例えば、野菜ソムリエが葉しょうがと塩と合わせて「しょうが塩」を作るなどの事例がありますが、そのような型で市民が農業振興に関わっていく。参加型だと、市民の方も、小金井市民として農業振興に関わっているという意識を持つことが出来るように思います。市民参加型の取組が郷土愛に繋がっていくようなイメージでしょうか。農業者にとっては、関係人口を増やしてもらいたい考えです。

事務局長 「6-4」は、個別の施策との繋がりもあるように思います。

農業者にも、他業種との連携を進めたい方、市民と積極的に関わりたい方、生産・出荷に集中したい方など、色々な方がいます。それぞれの農業者が、関わりや取組を通して誇りを持てる、そういうイメージに繋がっていくようにも思います。

本日ご意見をいただきましたので、「6-4」を施策の一つとして位置付けるのか、全体を包括する考え方として位置付けるのかについて再度事務局でも検討する必要があるように感じました。

委員 基本施策5、6に関して、施策のタイトルと内容が合っているのかが疑問に思います。より多くの人に「農」を理解してもらい、「農」に参加してもらいということが果たして「向上」と「波及」なのでしょうか。イメージが掴みきいていない部分もありまして文言に違和感があります。

基本施策5は、施策の内容自体は、読むと理解できますが、「魅力の向上」という施策のタイトルが内容に対して適切なかどうかは疑問です。

基本施策6の「シビックプライドの醸成」というのは全体に関わる話のため、「まちづくりの波及」という施策の枠に収まりきれないのではないかと印象を持ちます。

委員 これまでは、農地・農業の機能としての話が主でしたが、そこに「農」以外の価値を持たせるというのが今回の計画では重要と考えています。そういう意味

では、『農』の魅力向上」や、「まちづくりへの波及」という考えを入れることはとても大切なことだと思いますので、理解してもらえるように分かりやすく作りこむ必要があるように思います。

委員 販売に関しては、朝市やマルシェ、その他イベントなど、単発的な内容が多く記載されています。しかし、農業者からすると、一回のイベントにおける売り上げよりも日々の売り上げのほうがより重要であると思います。日々の販売に繋がるような施策は、「3-2 地場産農産物の販路拡大」や「4-2 販売機会などの拡充」で触れられてはいるものの、内容がさらっとしているように感じます。

個人の努力はもちろん大切ですが、例えば、小金井市の大きなスーパーや飲食店に対して、年に1回JAから提供できる農産物の紹介をしてもらうなど、販路をどのようにつくっていくのか、どのように売り上げを上げていくのか、日々の地道な農業における具体策も提示していただくと良いように思います。

委員 「4-2 販売機会などの拡充に」関しまして、小金井市のJAでは、農業者に添った販売機会を既に提供してくれています。例えば現在、東小金井のシナノキ公園に直売所を設けて週に2回販売しています。以前は、武蔵小金井駅北口のドン・キホーテの店先を借りて販売機会を設けてくれました。

JAからこのような販路拡充に関する提案がありまして助かっています。

市外では、三鷹駅南口にあるボンマルシェという直売所で小金井産の野菜の提供をさせてもらっており、売り上げ向上に寄与してくれています。今後もこのような地道な取組に期待したいと思います。

市民との交流に関しましては、生産者だけでは対応できません。JAには色々な組合がありますので、組合を通じてひとりひとりの小さな力を発揮出来るような場を設けてもらいたいです。異業種連携など、生産者を巻き込んだ取組機会を年に数回、イベントのような形で設けてもらおうと助かります。

副部会長 「3-2 地場産農産物の販路拡大」と「4-2 販売機会などの拡充」が類似しているように感じます。「3-2」は主にアドバイスなどの支援を行い、「4-2」は販売機会をつくるということだと認識していますが、重複している印象を受けます。一つ一つの施策の中で何を行うのかを、より具体的に説明する必要があるように思います。

事務局長 周りに住んでいる市民に、農業や農地の価値を理解していただきたいという考えがあります。従来の農地にプラスアルファの価値があるところを見せていきたいと思っています。実際に小金井市では、市民の人と一緒に色々な取組が行われています。新たな農地の価値として、そういった面も打ち出せると良いように思います。

施策の内容は、どこのカテゴリーに分類すると良いのか判断が難しいところがあります。重複しているものやまとめられるものも散見されますので、次回に向けて事務局でも整理をしていきたいと考えています。

委員 今後、市で具体的な施策や事業を講じていく中で、どこに何が当てはまっていくのかが見えてくるのではないのでしょうか。作りやすい施策と作りにくい施策があるかと思います。農だけでは出来ない施策などは、上位計画や個別計画を参考に、どこと連携して取り組むかについて整理をしていきますと基本施策の5と6

もししっかり分けられてくるように思います。

施策の内容のボリューム感も混在しているため、そこが整理されていきますと、市全体としてやることなのかどうかも含めて明確になるのではないのでしょうか。

委員 農業者が、異業種との連携について考えてくれていることもとても重要であると感じています。農業者が連携に積極的になってくれると、つながりは増えていくように思います。

現在、小金井市独自の基準で認証農業者制度が設けられていますが、その評価基準が年間所得目標でしかないことに疑問を感じます。農業・農地に価値を持たせるのであれば、農を通じて地域のためにどのような活動をしてきたのかなどを評価する基準を設けますと、農業者も地域のために取り組もうという気持ちになるのではないのでしょうか。

小金井市が率先して評価基準を変えていく、そういったことが小金井らしさにも繋がるのではないのでしょうか。

委員 小金井市において、農がこれだけ大事にされているのは、まさに愛着を感じてらっしゃるからなのだと思います。それを是非計画に活かしていただきたいと思います。農業者中心でもこんなことが出来るんだということを計画にまとめていただけると良いように感じました。

副部長 小金井市には、食育や福祉、色々なものに寄与している方がいらっしゃいます。販売面以外の考え方も見える化すると農業者のモチベーションも上がるように思います。少なくなった農地で何をどう輝かせるのかが今後の課題になってくるように思います。

他にご意見ございますか。それでは、次の議題に進みます。

(3) その他

事務局 議事録に関しまして、以前の部会で、発言要旨の掲載ということでご了承いただきました。議事録の内容については、部会開催後に委員の皆様にご確認いただいておりますが、皆様からの修正等のご意見集約後の議事録につきましては、部会長一任という形でまとめさせていただき、市のホームページにて公表させていただきたいのですがよろしいでしょうか。

一 同 異議なし。

事務局長 部会長一任にさせていただきますとより早く公表することができますので、今後はそのように進めさせていただきます。

事務局 次回の部会は11月19日です。

本日のご意見をもとに事務局で内容を整理いたしましてから、有志による個別の検討会を設けさせていただきたいと思います。

4 閉会

副部長 その他にご意見ご質問等ございますか。

無いようですので、以上を持ちまして本日の会議を終了といたします。